



河内 克也議員

「瑠璃」等、村有財産・村有地の状況は？

河内議員

村総合計画等に則り進められた、温泉・宿泊施設等の村有財産売却等処分と村有地貸付。村民から「楽しみの温泉に入れなくなった。混雑している。瑠璃は大丈夫？ 木の香湯オープン時期は？」「解雇された。ゴルフ場経営者が変わった？」等の声を聞く。動向に住民の関心は高い。村民への情報公開という点で不十分と考える。

関連7施設の今後の予定・展開等最新状況は？

瑠璃は連携先を探している

村 長

- ①瑠璃は売却先、神戸市の(株)ジャパックスが計画の温泉・宿泊施設改修が、自力での事業推進が困難となったことから、新たな連携先を探している。村も先方と連絡を取りながら、早急な事業再開に向けて協力していく。
- ②グリーンピア南阿蘇は、売却先が12月からリニューアル工事に着手し、令和8年4月のオープンを目指し、改修工事が始まった。
- ③木の香湯は(有)コロンが、令和7年12月オープンを目指して温泉棟・宿泊施設の工事に着手した。
- ④売却予定のウイナスは、熊本市KSMY合同会社がウイスキー製造、温泉・宿泊施設などを計画。
- ⑤四季の森は今議会に売却議案を上程しており、貸付先の大祥有限会社が施設を引継ぐ。
- ⑥南阿蘇カントリークラブは、10月に地元関係者に今後の運営と村有地活用法について説明会が開催され、新会社へ事業継承が進められている。
- ⑦グリーンピア東側の村有地に一企業からホテル計画が提案されており、今後は公募を行う予定。11月、地元第3駐在区に担当課から説明を行った。

河内議員

村にとって厳しい財政状況下で、施設があることで経済波及効果と通過型観光から滞在型観光地への脱皮が図れる。これからは、より多くの自主財源を確保するため村有財産を収益財産として捉え活用していくことも大切。その前提で大事なことは、村民、議会に適宜情報提供し、財源検討・村有財産管理有効活用検討委（仮称）等を立ち上げ、意見を聞きながら活用することが求められている。



部活動地域移行の現状と支援は？

河内議員

中学校部活動の地域移行は、この数年間、村では少子化、全国では勝利至上主義、体罰問題、先生の超過勤務と働き方改革等が問題となり、議論が行われてきた。国が進める改革期間は2年目に入り、先進的な地域では具体的な姿が見え始め、課題も浮かび上がってきたようだ。大事なことは、村の子どもをどうするのかを捉えた議論をしなければ本当の方向性は見えてこない。

①南阿蘇中学校部活動の現状は？ ②本村部活動の今後の在り方と村の継続性のある環境整備と保護者負担軽減等支援の考え方を聞く。



子どもたちのため積極的に取り組む

教育長

- ①現状は全生徒の約6割が部活動に参加。剣道、吹奏楽など8部が活動し、軟式野球部は単独でチーム構成が出来ず、他校と合同チームで大会に出場している。各部に顧問の先生と外部指導者を12名配置し、一週間の練習日は5日以内とし水・日曜日は休養日。村に部活動がない競技サッカー部等22名を含め計28名が他のスポーツクラブで活動している。
- ②村では部活動地域移行検討委員会を開催し、7年度末までに休日の部活動完全地域移行を目指し、関係団体と調整を進めている。平日移行も議論を行い、スムーズに準備に着手したい。指導者は現在の外部コーチを中心に、村スポーツ協会所属の種目別協会にも指導者の推薦をお願いしており、準備が整った部活から随時移行していく計画。新たに生じる負担は休日の傷害保険と謝金であり、出来る限り保護者負担がないよう村で財源確保する予定。子どもの夢、希望が叶えられるよう一人ひとりにあったスポーツ・文化活動を提供できる環境整備を図り生涯継続させるため出来る限りの支援をしていく。

河内議員

答弁で部活動でいろんなケース、ニーズがあることがわかった。近隣町村との連携、練習・試合での移動手段の確保も大切。経済的に厳しいご家庭がある。生徒の夢実現のためこれからも議論が必要だ。